

1年生を迎える会がありました

4月19日(金)、6年生を中心に1年生29名を迎える会が児童会主催で行われました。会では、児童会長高藤陽樹さんの1年生を迎える言葉に続き、学校生活のルールについて、演技を交えての説明や、全校で「じゃんけん列車」をしました。そして、6年生から1年生1人ひとりに木島小学校の校章をアレンジした手作りペンダントを贈りました。1年生は、ペンダントを胸にかけてもらい、とても嬉しそうでした。



[授業の受け方について演技を交え、説明してくれました。]

[6年生からの贈り物校章のペンダントを一人ひとりにかけてもらいました]

迎える会での会長の1コマ
高藤 陽樹
…今日は、6年生が中心となり、1年生の皆さんの仲間入りを祝う集会をします。内容は、学校生活の決まりが分かる劇をしたり、クイズをしたりします。1年生の皆さんは、しっかり見て、決まりを覚えてください。そして最後に、6年生から1年生に木島小学校の仲間入りとして、プレゼントをわたします。楽しみにしていてください。
(中略)これから木島小の一員として生活していきましょう。分からないことや困ったことがあったら、6年生のお兄さんやお姉さんに遠慮無く聞いてください。

交通安全教室(自転車)・避難訓練が行われました

4月16日(火)には、交通安全教室、4月17日(水)には、避難訓練を行いました。交通安全教室では、3年生～6年生は自転車の安全な乗り方やルールについて、1、2年生は道路の安全な歩行の仕方やマナーについて学習しました。当日は、木島地区安全協会の関賢太郎様においでいただき交通に関わる資料をいただいたり、自転車の路上練習でご指導いただいたりしました。自転車は非常に便利な乗り物です。しかし、その気軽さから、マナーを守らない危険な運転も多くみられます。今回の安全教室以後、自転車乗りが許可となりますが、ご家庭でも、自転車の乗り方について話題にいただき、お子様が、事故に巻き込まれることのないようご指導願います。避難訓練は、火災を想定し行いました。避難指示に従い、学校の校庭南側に避難をしました。避難後に校長先生から、「まず、避難の指示をしっかりと聞きましょう。実際の避難では、『おはしも』(おさない、さわがない、しゃべらない、もどらない)を守りましょう。そして、実際の場面では、訓練のように、訓練では、実際の時の事を考えながら行動しましょう。」と、お話をいただきました。



[最初に、校庭の模擬コースで、自転車の乗り方の話を聞き、練習しました。] [次に、路上に出て、実際の道を使って自転車の乗り方を確認しました。]

[避難訓練では、代表で4年生が、避難はしごを使っての避難を体験しました。]

緑の少年団結団式が行われました

4月26日（金）、ふるさと学習の一環として緑の少年団結団式が行われ、学校の代表として6年生27名が、緑の少年団員になりました。結団式では、活性化センター所長藤本智教様から、「豊かな山は、きれいでミネラル豊富な水をつくり、それが海に流れて魚を育てます。皆さんの活動は、自然を守る大切な活動です。」とお話をいただきました。結団式後、緑の少年団の最初の活動として、「なめこ」の駒打ち体験を行いました。木島公民館長浦野秀人様からお話をいただき、JAの勝山成貴様から作業内容の説明を聞いた後、準備していただいた27本の原木全てになめこの菌のに入った駒を打ちました。最初は怖々でしたが、すぐにコツをつかみ楽しくできました。この原木は木島小学校が管理する山に運び、育てられます。数年後には見事ななめこが収穫できることでしょう。



〔団服を着て、心身ともに緑の少年団の仲間入りです。これからの活動が楽しみです。〕



〔なめこの駒打ち、ドリルで穴を開け、そこになめこの菌のついた駒木を打ち込みました。少し怖かったけど、全部打てました。〕

授業参観・PTA総会ご参加ありがとうございました



〔これから図工で作る、「かぶって楽しいぼうし」の説明を聞き、わくわくしながら、工作キットを開けました。どんなぼうしができるか、とても楽しみです。〕

4月20日（土）、本年度第1回目の授業参観がありました。土曜参観という事もあり、たくさんの保護者の方にご参観いただきました。ありがとうございました。

また、参観後に木島地区活性化センターで、PTA総会、PTA歓迎会が行われました。総会では、平成25年度PTA本会役員や、活動計画が無事承認されました。また、平成24年度PTA活動にご尽力いただいた、平成24年度PTA会長 八井澤敏明様、同PTA副会長 伊賀 佳美様にPTA・学校より感謝状と記念品をお送りしました。



〔伊東会長より、八井澤前会長に、感謝状と記念品をお送りしました。〕

平成25年度PTA本会役員の方

会 長	伊東 只揮さん
副会長	高橋 聡さん 青木 時子さん
会計監事	市川 達夫さん（副区長会長）
	岡田 良作さん（区長会会計）

☆確認とお願い☆

「家庭学習について」

…学校では、教科の授業を通して、基礎基本の定着、活用する力の定着に力を入れています。また、毎日10分のドリルの時間を位置づけ、学習した内容の確認の時間を設けています。学習内容がきちんと身につく、一人ひとりの力となるためには、学校での学習とともに、家庭での学習が欠かせません。次に「家庭学習の定着に向けて（家庭学習の取組）」についてまとめましたので、お読みいただき、お子様の家庭学習の充実がはかれまますようご協力願います。

飯山市立 木島小学校

文責 久保田 学（教頭）

飯山市野坂田 484-3

TEL : 0269 (62) 2148

fax : 0269 (62) 2309

電子メール : kijima@iiyama-catv.ne.jp



◆◇◆ 学習の定着に向けて ◆◇◆

家庭学習の取組

飯山市立 木島小学校

学校では、主として教科の授業を通して、学ぶ力・生きる力をつけていくための素地となる基礎基本や活用する力の定着をねらいとした学習を計画的、継続的に行っています。

学んだ内容を確実に身につけ、活用できるようにしていくためには、壺に水をためていくように、時間をかけたり、やり方を工夫したりしながら継続や繰り返しが重要となります。

各ご家庭におかれましては、引き続き、子どもさんの家庭学習への取り組む様子を見ながら、時や場を工夫し、声かけや励まして自分自身のやる気を大切にさせていただきますようお願いいたします。

下記に、小学校の生活や学習をまとめる段階にある最高学年の家庭学習を例に、学力向上につながる学習への取組みについて、大事にしたい点をご紹介します。

低学年・中学年の学習とも大いに関係がありますので、お読みいただき参考にいただければありがたいと思います。中学校に進んでも大切なこととなりますので、実行し、生涯にわたっての学ぶ楽しさにつながるようお願いしています。

【家庭学習の位置づけ】

学校で学習したことを確かめたり思い出したり、習熟したり、また、明日の予習をしたりする時間を、1日の生活の中で確保できるようにしたいものです。生活リズムをつくり、毎日学習に向かう習慣づけになります。自分自身で取り組もうとする気持ちを大切に育てていきましょう。

[★いつ？
どれくらい？]

「10分×学年+〇」
を目安に！

家庭学習は時間の多
少にかかわらず、継続
することで効果が出
てきます。ポイントは、
子どものやる気、自主
的な取組みを認めなが
ら励ますことです。自
然にできるようになっ
たら、少しずつ時間を
のばすようにしてい
きましょう。

★どこで★

低学年の児童の場合

学習机に座らせて、「勉強しなさい。」ではうまく進められないと思います。習慣づけには、時間がかかりますので、親子一緒に楽しむ気持ちで行うとよいでしょう。また、子どもと一緒に話し合っ家庭学習の計画を立てる場を設けてみてください。その際、勉強を無理強いするのではなく、遊ぶ時間との折り合いをつけて、子どもが納得するように配慮してください。

中学年・高学年の児童の場合

学習する場をはっきりさせることが大切になってきます。必要に応じて親子一緒にということもありますが、一人で学習を進められるようになっていかなくはなりません。具体的には、勉強部屋としての場が確保できる場合は、そこで学習できるようにしていきたいものです。また、近くに、ゲームやテレビがある場合は、スイッチを切ることです。気持ちの切り替えやけじめをきちんとすることで、集中力も身につけることができるようになるでしょう。



～ たゆまざる 歩みおそろし かたつむり ～

【授業や家庭学習で力をつけるポイント】 ※高学年児童向けの文章表現でご紹介します。

1 予習をして授業に参加しよう

教科書を読み、はっきりしない点に？マークやここは大事だと思うところにアンダーラインを引いて授業に臨むだけで、不思議と授業内容の理解に違いがあるものです。

2 「忘れ物」をしないように努力しよう

忘れ物をして授業に臨むのは、大工さんが仕事道具を用意せずに現場に向かうようなもの。勉強のほうから、見放されないためにも、学習用具等々の確認は欠かせません。

3 マイノート作りを工夫しよう

単なる黒板や教科書丸写しからの脱却を図ろう。重要事項につける印や色分けなどで工夫したり、図や絵を用いたり構造的に組み替えたりして自分にとって理解しやすくまた、後で確認しやすい記録方法を開発しよう。「聞きながら要点をメモに取る」ことにも慣れていこう。

4 不明な点は、その場で解決しよう

分からないことが積み重なっていつのまにか弱点になってしまったということにならないように疑問が生まれたらその場で質問しよう。質問上手は勉強上手。

5 復習は内容に応じて目的をもって

家庭学習では、要点を整理するのか、重要事項を確認するのか、すらすらできるように練習して習熟しようとしているのか、目的をはっきりさせて取り組もう。

6 教科書を上手に活用しよう

教科書は一人学習のときの最高のパートナー。今、学習している内容も含めて、その関連内容を繰り返し読んでみよう。あの場所にあのようなことが説明されていたというようなことが、イメージできるようになってくればしめたもの。

7 自分の考えを自分の言葉で説明する。他の考えを最後までしっかり聞き取ろう

まず、学習問題に対する自分の考えをはっきりさせよう。人の考えと異なっても、びくびくしたり取り下げたりする必要はない。しかし、その考えを、更新させていく力もとても大事なので、相手の言わんとしている思いや考えの根拠には、しっかり耳を傾ける聞き方ができるように努力しよう。考えの違いが新たな深まりや理解につながる重要な場合が多いことを実感できたら学習の面白さが増していきます。さっきまでの自分が新たな自分の発見につながり、学習への手ごたえやほらあいにつながります。

8 自分の考えを自分の言葉で説明する。他の考えを最後までしっかり聞き取ろう

家庭は子どもの生活の場の基本です。日常生活の中で、子どもが自然に読書に親しむことができるよう環境整備を考えたいものです。発達に応じて、読み聞かせや一緒に本を読むなど工夫して子どもが読書と出会うきっかけを作ったり、「読書の時間」を設けるなどして、読書が日常の生活の中に位置づけられ継続して行えるよう配慮していただければ、それは子どもにとって大変幸せなことです。読書に積極的に親しみ、本の楽しさを親子で語り合うなど、読書に対する興味や関心が自然に高まるような環境づくりから、子どもは、豊かな語彙力を身につけ、考えたり表現したりする力を高めていくことができるのです。